

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式										
EU41C404		発達障害児者の特別支援教育(Seminar in Education for the Children with Developmental Disabilities)					高度専門科目												
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
選択		2	1	教育学研究科	前期		氏名 衛藤裕司												
							E-mail eto@oita-u.ac.jp 内線 7537												
授業の概要		授業は、LD(学習障害)児者及びADHD児者等の事例について、具体的な個別検査・行動観察・インタビューの結果を分析しながら、同時に方法論を学び、特に「個別の指導計画」の作成を演習的に行う。また、特別支援教育の教育課程の中での発達障害教育の教育課程について学び、他障害の教育課程との違いを理解するとともに、教育課程の中で適切に位置づける方法について講義する。また、「個別の指導計画」だけでなく、「個別の教育支援計画」の作成の演習を通し、外部専門機関との連携の具体的な在り方について講義する。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 LD児者等についての診断・判断基準を説明することができる										○	○								
目標2 発達障害児者の実態把握のための心理学的モデルを説明することができる										○	○								
目標3 収集した情報を分析することができる										○	○								
目標4 LD児者等の教育課程を理解した上で指導計画を作成することができる										○	○								
目標5																			
目標6																			
目標7																			
目標8																			
目標9																			
目標10																			
授業の内容																			
1 DSM・ICDにおけるLD・ADHD																			
2 LD・ADHD理解の教育・心理学モデル																			
3 授業観察によるLD児者等の実態把握と分析																			
4 インタビューによるLD児者の実態把握と分析																			
5 個別検査によるLD児者等の実態把握と分析																			
6 学力テスト・作品等によるLD児者の実態把握と分析																			
7 問題行動の機能分析によるLD児者の実態把握と分析																			
8 個別の指導計画の作成1：包括的アセスメント																			
9 個別の指導計画の作成2：指導計画の立案																			
10 特別支援教育の教育課程の概要																			
11 通級による指導の教育課程の概要																			
12 LD児者の自立活動における指導内容																			
13 個別の教育支援計画の位置づけ																			
14 個別の教育支援計画の作成演習																			
15 個別の教育支援計画と外部専門家との連携																			
ラ ア イ ク ニ テ ン イ グ ブ		A:知識の定着・確認				☐	ディスカッション(話し合い)、事例研究(ケース・メソッド)、相互教授(学び合い)				工 夫	そ の 他 の	補助プリント配布						
		B:意見の表現・交換																	
		C:応用志向																	
		D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安		準備	教科書の指定部分を読む(15時間)																
		事後	課題プリント(15時間)																
教科書		文部科学省(2018)：「改訂第3版 障害に応じた通級による指導の手引―解説とQ&A―」海文堂 ISBN:978-4303124168																	
参考書		文部科学省(2022)：障害のある子供の教育支援の手引き―子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて― ISBN:978-4863716131 日本LD学会(2019)：LDの定義を再考する。金子書房 ISBN:978-4760821839																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法						割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
	授業時の発表						60%	○	○	○									
	レポート						40%				○								
注意事項		特にない																	
備考		特にない																	
リンク																			
		URL																	